

ANIMAL CENTER NEWS

No . 8

目次

◆施設使用時の注意

◆in vivo 用 CT 装置の説明会について

◆8 月微生物モニタリング結果

◆X線照射装置の移設について

◆平成 30 年度大学院博士課程選択実習を実施します

◆第 52 回日本実験動物技術者協会総会に参加してきました

◆実験動物体慰霊祭



(写真 1) 中秋の名月

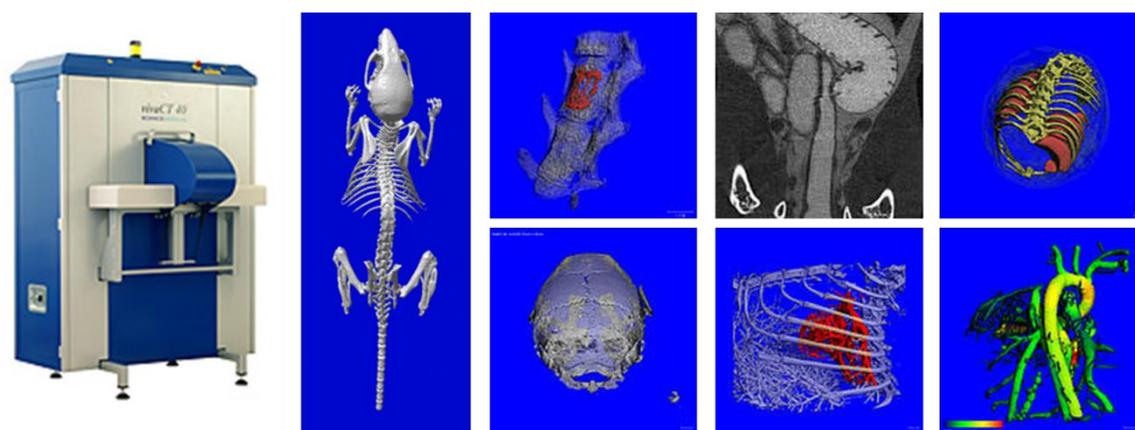
◆施設使用時の注意

日頃から十分注意されていることと存じますが、下記事項の厳守をよろしくお願い致します。
動物実験センターを利用される際は、センター内の機器、ケージ、台車等の扱いに十分ご注意ください。
万が一、破損してしまったり、壁や床を傷つけてしまった場合は、速やかにセンター職員に報告して頂くようお願い致します。

◆in vivo 用 CT 装置の説明会について

SCANCO MEDICAL 社（スイス）の in vivo 用 CT 装置【 vivaCT 40 】の説明会を 10 月 31 日、16 時から ADRES 多目的ルーム（場所は予定）にて開催いたします。

vivaCT 40（マイクロ・フォーカス X 線 CT 装置シリーズ）は人用の X 線 CT をよりコンパクトにして、分解能を数ミクロンオーダーまで向上させ、生体試料全体の微細な構造変化の 3D 評価が可能です。特長である、高い空間分解能性能はバラつきの無い安定した定量結果を生み出します。本セミナーでは、同一生体の経時的評価が可能な in vivo 用 X 線 CT をメインに、装置原理、各種アプリケーション、また、材料系分野での多彩なアプリケーション等も併せてご紹介いたします。トップクラスの高い空間分解能を誇るシステムですが、日本にはまだ導入されていません。みなさまのお声次第で動物実験センターへの導入の可能性もありますので、是非説明会に参加し、ご意見いただければと思います。奮ってご参加ください。



SCANCO MEDICAL HP より (<http://www.scanco.ch/en/docs/images/vivact40.html>)

(図 1) 説明会資料

◆8月微生物モニタリング結果

各飼育室のモニターマウスのイライザ定期検査を8月21日に実施しました、全ての飼育室の検査結果は、陰性でした、詳しくは、動物実験部門ホームページに記載しています

次回検査は、11月に、実験動物中央研究所にてさらに詳しい検査を予定しています。

モニター動物検査結果 (<https://www.adres.ehime-u.ac.jp/bumon/04/guide/result.html>)

◆X線照射装置移設について

現在3階327室に設置しているX線照射装置は、新しい照射装置導入に伴い、2階246室に移設することとなりました、高度SPF区域と、一般の区域と2台の設置になります、一般の区域で照射後、免疫が落ちる可能性のある動物は、微生物制御システムのラックに飼育可能となります。

◆平成30年度大学院博士課程選択実習を実施します

来る平成30年11月9日に、下記内容の平成30年度大学院博士課程選択実習を実施します。

実際に動物を取り扱いながら、日常の動物実験作業に必要な不可欠な手技を習得して頂きます。

ご興味のある方は下記連絡先まで、気軽にお問い合わせください。

実習タイトル：動物実験の基礎

指導教員：今井祐記、佐伯法学

所属：ADRES 動物実験部門／PROS 病態生理解析部門

実施時期：11月9日（金） 時間未定（2時間程度）

場所：機能系実習室1

対象動物：マウス・ラット・モルモット

内容：保定法、投与法（腹腔内、尾静脈、経口）、採血法、麻酔法
（注射および吸入麻酔）、安楽死法など

問い合わせ先：学術支援センター動物実験部門 管理室（内線：5446）

◆第 52 回日本実験動物技術者協会総会に参加してきました

10月4日(木)～6日(土)、熊本市市民会館シアーズホーム夢ホール・熊本市国際交流会館で開催された第52回日本実験動物技術者協会総会に参加してきました。

～3Rのさらなる実践 技術者の観点から～をテーマに、技術職員を中心とした全国の動物実験施設職員および関連企業が参加した同総会で、『愛媛大学動物センターにおけるチャタテムシの発生事例とその対応策に関して』と題した口頭発表を行い、当センターでの経験を発表するとともに質疑応答にて、より高度な対応策に関するアドバイスを頂きました。また、情報収集にも尽力し、マウス・ラットの生殖工学・ゲノム編集に関する最新の技術動向、動愛法改正、外部検証や施設管理などに関する有意義な情報を習得することができ、これらの知識を今後の施設運営に活用して参ります。

◆実験動物体慰霊祭

去る平成30年9月19日(水)、平成30年度実験動物体慰霊祭が138名の参列者を得て、慰霊碑前で執り行われました。参列者は黙祷を捧げた後に献花を行い、実験動物の冥福を祈りました。



(写真 2) 慰霊祭参列の様子